



杉二だより

令和 5 年度 10 月号
 杉並区立杉並第二小学校
 〒166-0016 杉並区成田西 3-4-1
 TEL 03-3313-0564
<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi2shou/>



「あいさつ」と「笑い」は人の「輪」を広げる

「しあわせの風」の「あ」は「あいさつ」ということで、杉並第二小学校では特に力をいれています。

「あいさつ」は人との関係を温かくするとってもすてきな習慣だからとよく朝会でも話をしています。さて、杉並第二小学校の児童のみなさんは 4 月当初より、とてもよく挨拶をしてくれます。

それは、それはすてきな笑顔とともに。

地域ではいかがでしょうか。

学校からの帰りに出会った児童は、翌朝、「校長先生!昨日帰りに会いましたね!」と声をかけてくれたり、たまたま私を見かけた児童が、家から出てきて後を追いかけてきて「校長先生!さようなら。これから帰るの?私、宿題やっていたの。」と報告をしてくれたりと本当にバラエティー豊かな「あいさつ」に出会いました。

たまには、児童と保護者の方々がたくさん歩いているところに遭遇し、遠くの方から「校長先生!!」と笑いながら大声で叫んでくれてこちらでも思わず、大きく手を振ったりしてしまうこともありました。

もう、こうなると、笑顔で「降参」してしまいます。そうです。必然的に「しあわせの風」の「わ」の「わらい」ができてしまう子供たちです。

どうしてこんなにコロコロとした笑いをしてくれるのでしょうか、もちろん、悲しい時には悲しい表情になりますが、この地域の特色でしょうか。普段からどの子どもとても明るく笑顔ができることが、とても印象的です。

「わらい」というのはとても良い効果があるという話を先日朝会で児童に話をしました。

宇宙ステーションでの滞在中、若田光一さんが必ず「わらい」の時間を取っていた話を例に、「あいさつ」だけではなく「わらい」も人との関係を潤滑にするすてきな習慣だと伝えました。

もちろん、この「わらい」は人を蔑んだり、仲間外れにしたりするような「わらい」ではありません。

面白いことに、この「わらい」には、ロシア人の宇宙飛行士の役割が大きかったそうです。ロシアの伝統か、たくさんの笑話を子供のときから覚えており、それを披露して笑わせてくれるそうです。

「わらい」には、免疫力を高めたり精神を安定させたりと健康面でのメリットはたくさんあると言われていますが、その「わらい」を受ける相手は、そのメリットをおすそ分けしてもらっているように感じます。そして、何物にも代え難い「信頼」を寄せてくれているのだという温かい気持ちにさせてくれます。

朝の正門前で、挨拶をする人の前で一秒ほどその場にとどまり、「おはようございます。」と、にこっと笑ってあいさつをする低学年の児童がいます。これにも「降参」。

実は、朝はどうしても苦手な私ではありますが、「あいさつ」と「わらい」で人との「輪」を広げていくそんな決意を新たにしている毎日です。

さて、宇宙飛行士のほとんどの方々が、宇宙から帰還すると、「宇宙から地球を見ると国際紛争のすべてがばかげて見える」のだそうです。

地球上から全ての紛争がなくなりますように。

10月のあいさつ標語

○さようなら あしたもいっしょい べんきょうしよう

2年 児童作品

○あいさつは 人と人をつないでる

4年 児童作品

○あいさつで 心も身体も リフレッシュ

6年 児童作品

10月の生活目標

「ものを大切にしよう」

落とし物コーナーには、持ち主が見つからないままのものがたくさんあります。自分の持ち物には名前を書いて、無くならないように大切に使いましょう。

また、みんなで使うものは来年の下級生が使います。下級生を思いやる優しい心で、みんなで使う物も大切にしていきましょう。